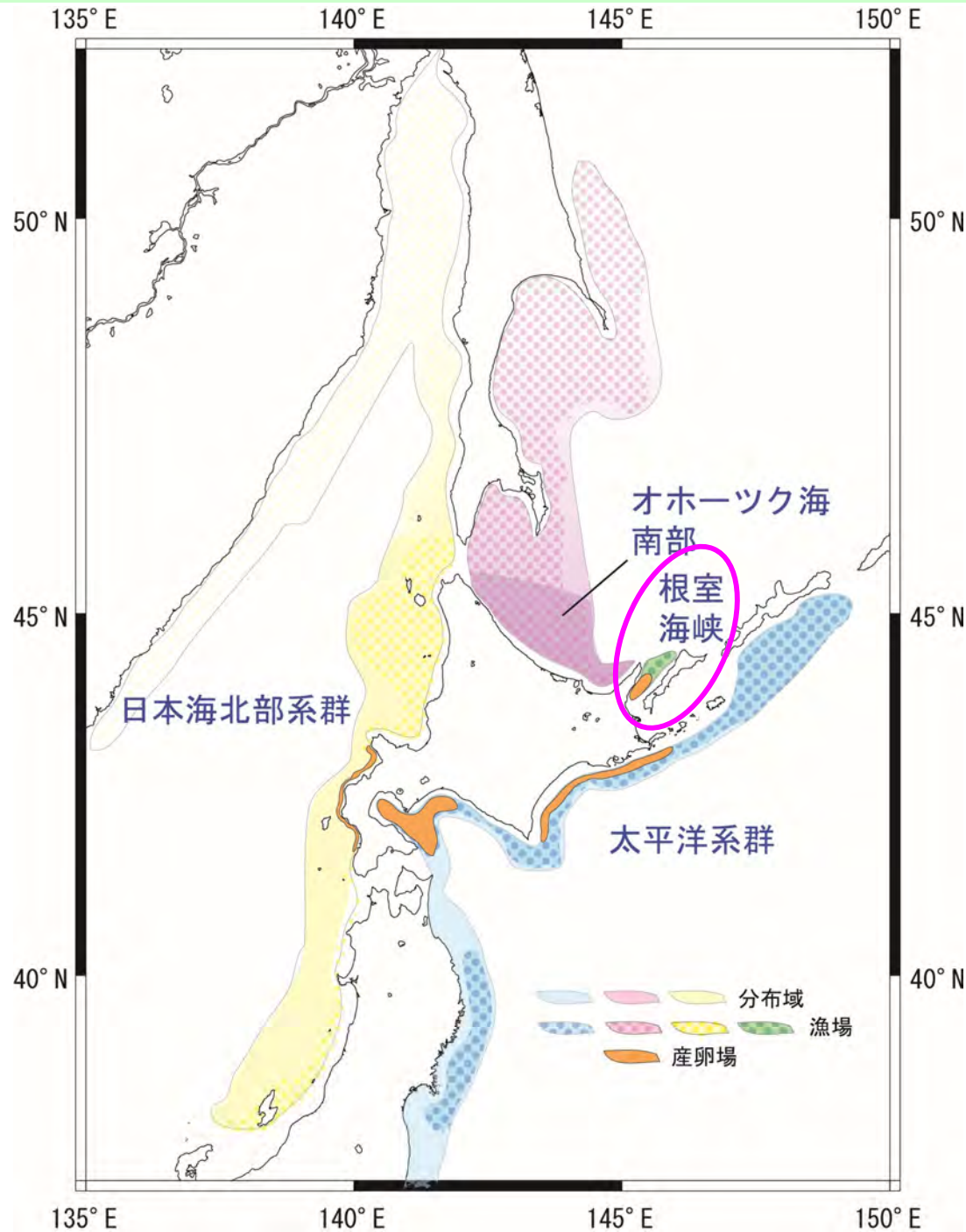




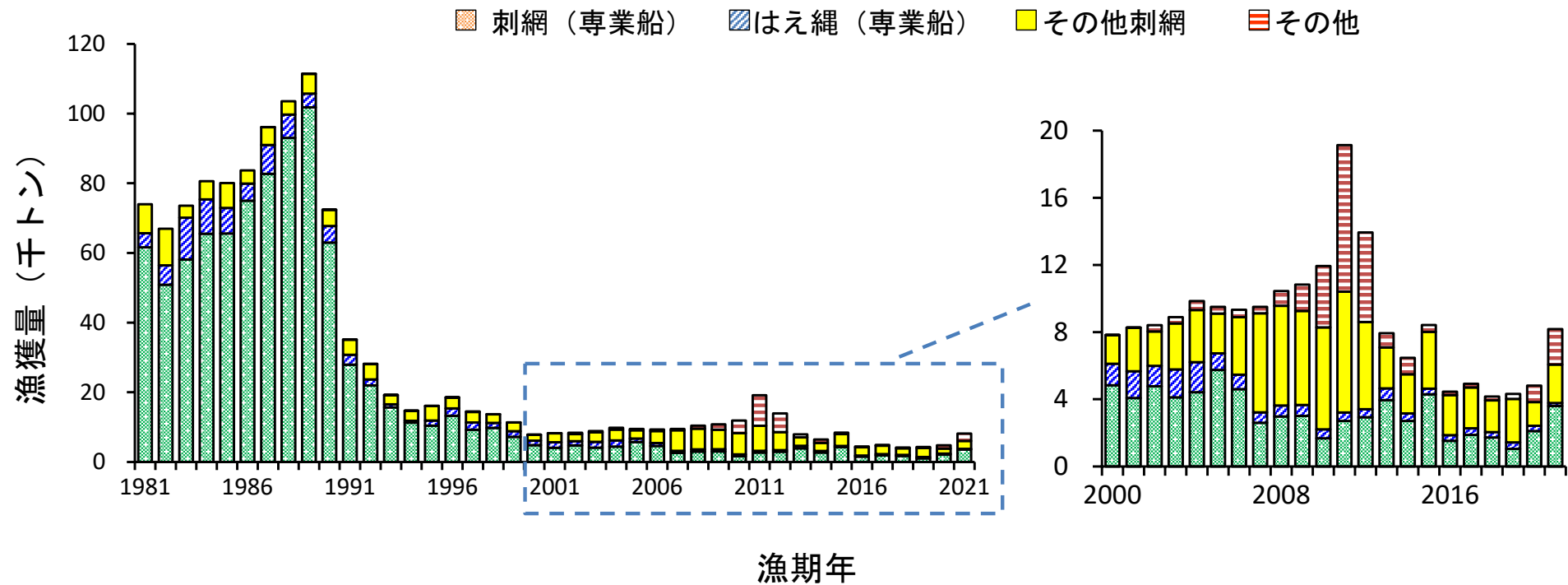
スケトウダラ根室海峡 令和4年度資源評価結果

生物学的特性



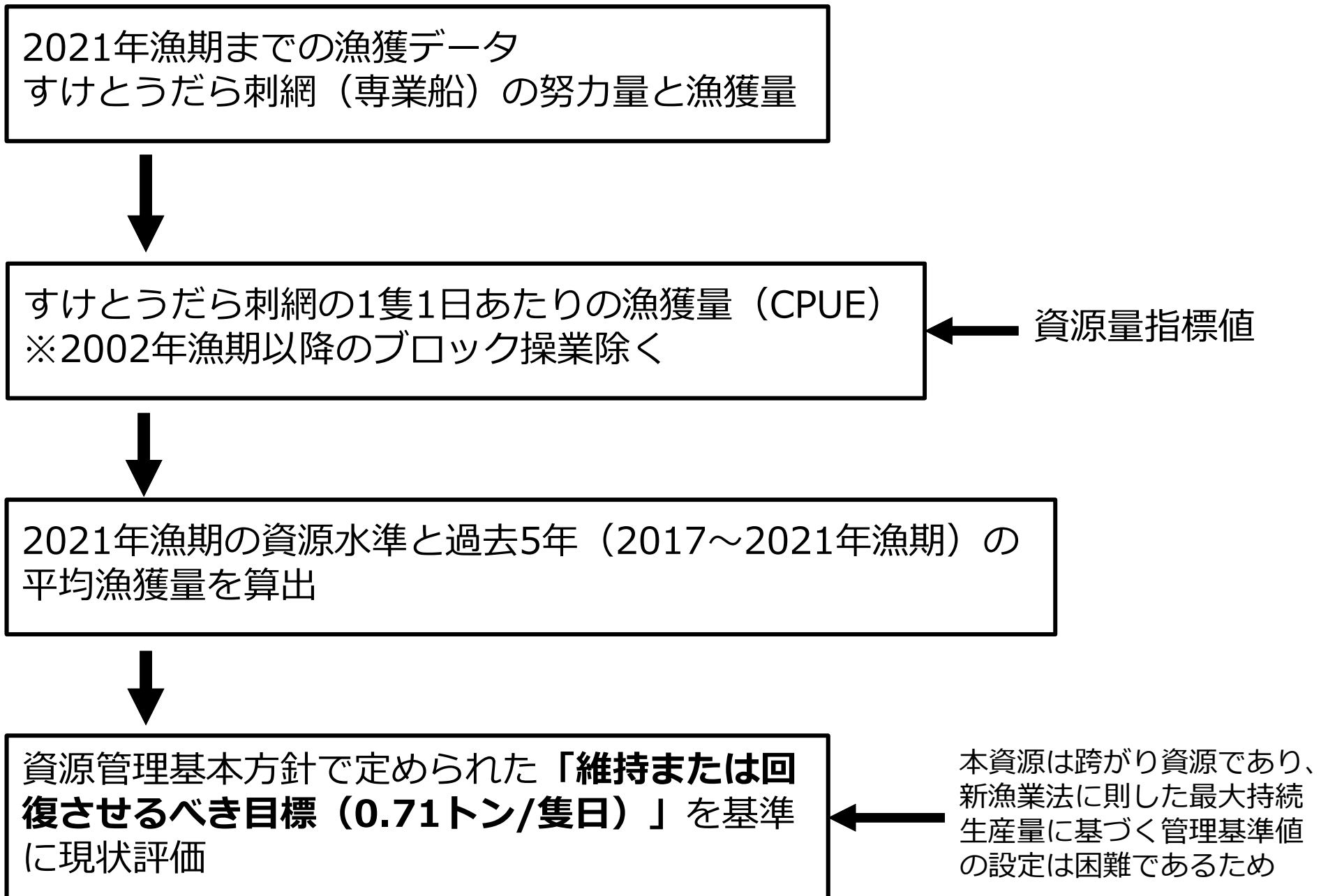
- 寿命： 不明（10歳以上）
- 成熟開始年齢：
3歳（一部）、5歳（大部分）
- 産卵期： 1～4月
- 産卵のために根室海峡に冬季
に来遊する群れが漁獲の主体
- 日本・ロシア両国により漁獲
されている
- 若齢期や分布・回遊に関する
情報は少ない

漁獲の動向

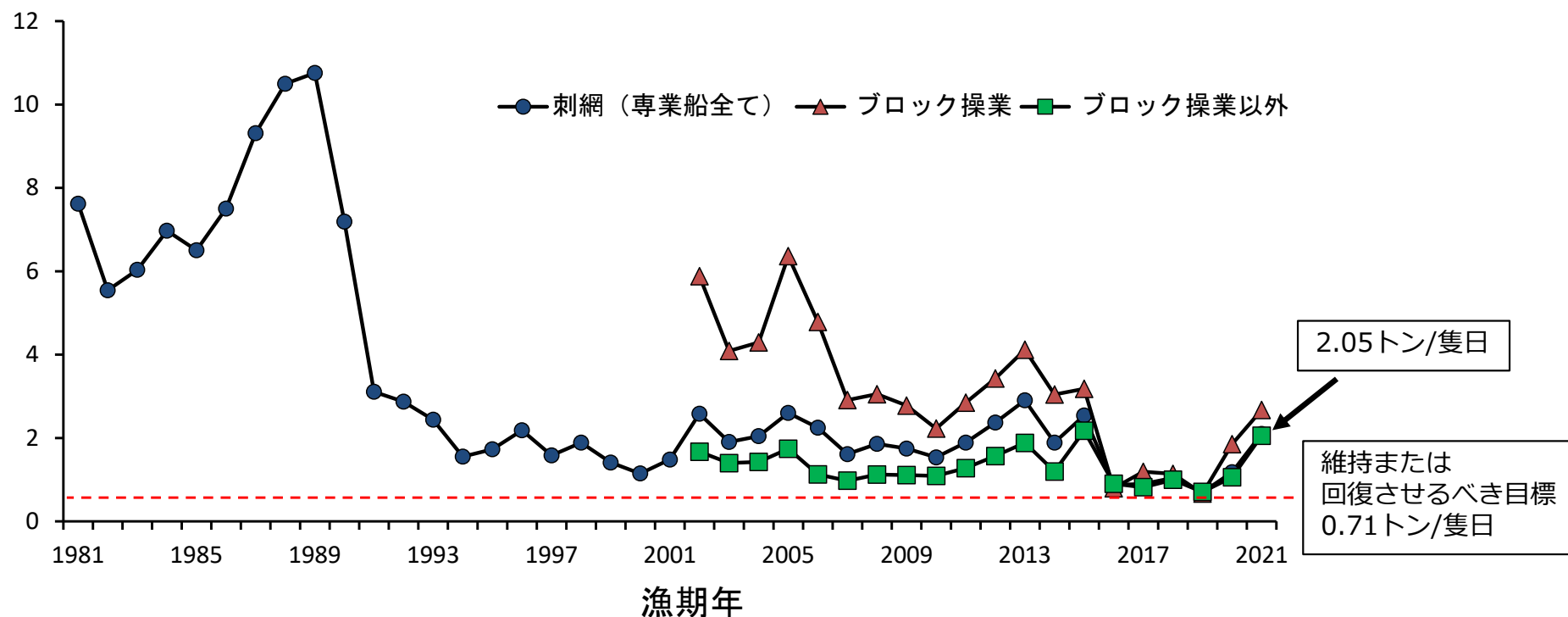


- 漁獲の大部分は刺網とはえ縄
- 総漁獲量は1990年代初頭に急減し、その後は低水準で推移
- 2011年漁期にかけて穏やかに増加したが、2012年漁期以降は再び減少
- 2021年漁期は8,177トン（前年比1.7倍）、過去5年平均は5,287トン（前5年比1.2倍）
- 「專業船」に加えて「その他」の漁獲が増加

資源評価の流れ



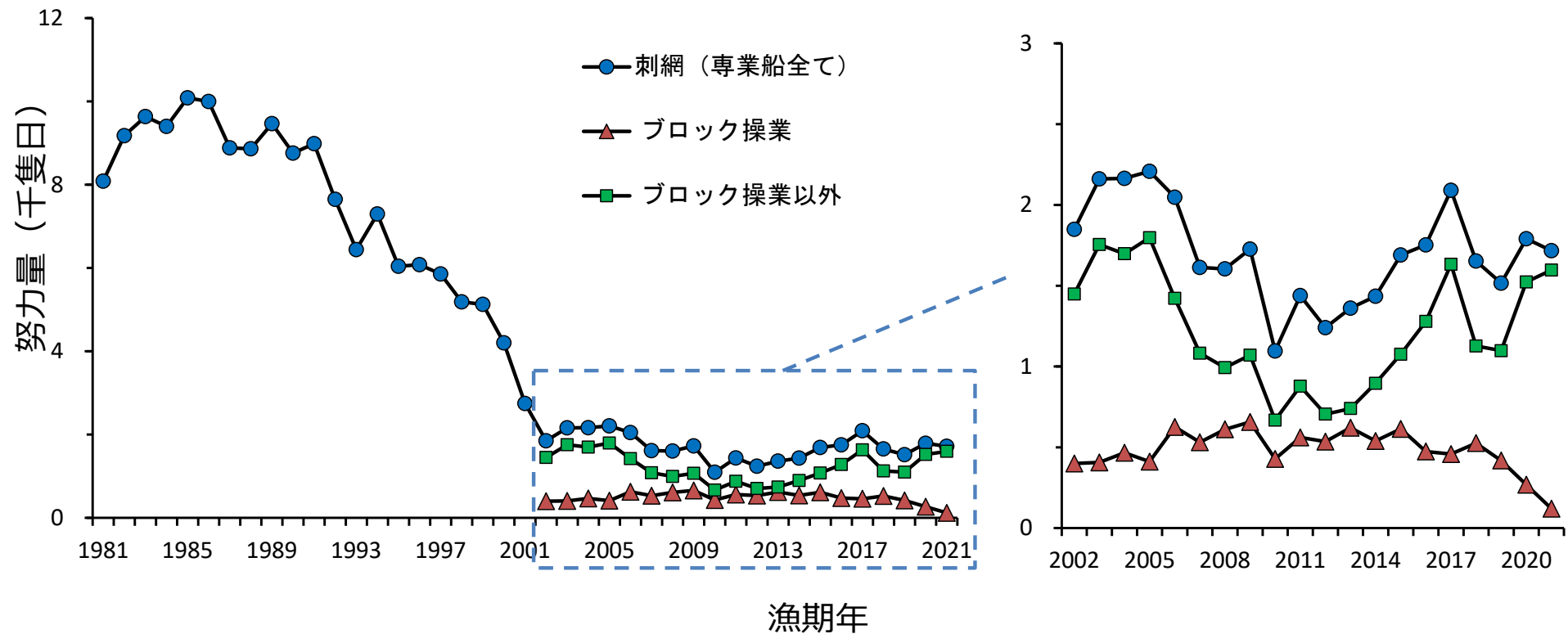
資源の動向（資源量指標値）



資源量指標値の推移と累積正規分布を適用したときの資源量水準
破線は資源管理基本方針で定められた目標水準を示す。

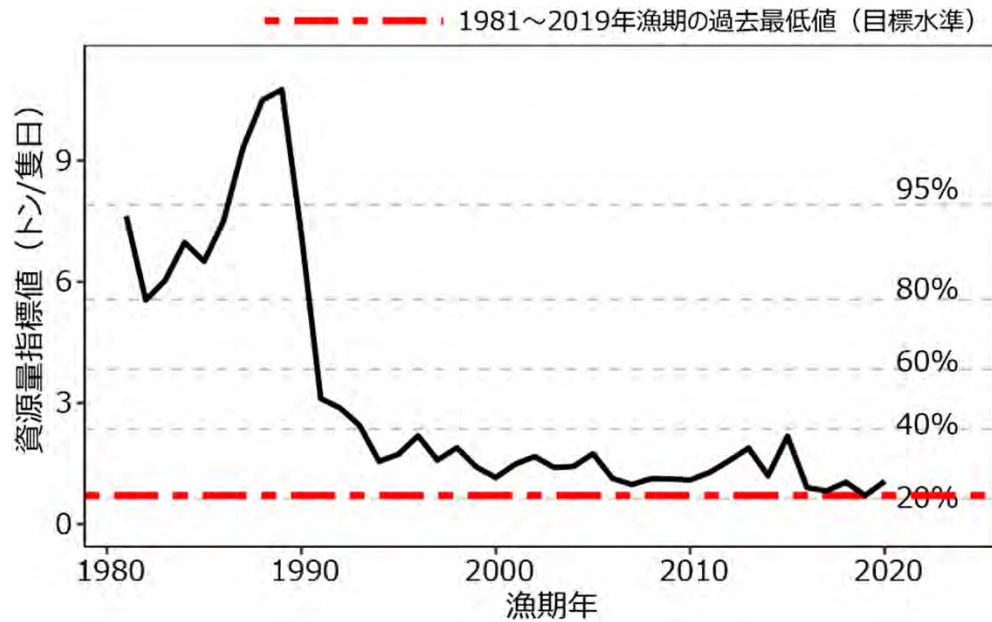
- 1989年漁期を最高に急激に減少、2016年漁期以降さらに低水準で推移
- ブロック操業は開始当初は高く推移したが、2016年漁期以降は差がない
- 評価に使用する資源量指標値は、すけとうだら刺網專業船の漁獲量／出漁隻日
2002年漁期以降はブロック操業以外のCPUEを使用
- 2021年漁期の資源量指標値は2.05トン/隻日（前年比1.9倍）、直近5年間の動向は増加
- 維持または回復させるべき目標水準を上回る

漁獲努力量



- 2002年漁期にかけて大きく減少、その後は横ばい
- 2002年漁期からブロック操業が本格的に開始
- ブロック操業は2002年漁期以降横ばいで直近は減少
- ブロック操業以外は増減しながらもほぼ横ばい

漁獲シナリオ



資源量指標値と目標とされる水準

本資源の漁獲シナリオでは、資源量指標値の1981～2019年の過去最低値を、維持または回復させるべき目標と定められている。2020年の資源量指標値はこの目標水準を上回った

- 本資源は隣接する水域に跨って分布し、日本漁船の操業水域における情報のみでは資源全体の動向を捉えることが出来ないことから、最大持続生産量に関する目標管理基準値や限界管理基準値を定めることは困難である
- 本資源の漁獲シナリオでは、我が国の漁船による漁獲の状況等を踏まえて、我が国漁船の操業水域に分布する資源の最適利用が図られるよう漁獲を管理するとされている